

労働者協同組合法
成立記念作品



人は人のために働いて
支え合い、
人のために死ぬ。
結局はそれ以上でも
それ以下でもない。

これは人間の仕事である。

IYC2025 全国実行委員会認定事業

会場：アイーナ・いわて県民情報交流センター アイーナホール(7階)

中村哲は問う——“働く”とは何か、“仕事”とは何か、そして“平和”とは！

12/7(日) ① 10:30～ ② 14:00～

医師中村哲の 仕事・働く ということ

語り◎室井 滋 朗読◎塚本晋也

写真・映像提供◎ベンチャール会/PM S

企画・提供◎日本労働者協同組合(ワーカーズコープ)連合会センター事業団

一般社団法人 日本社会連帯機構

製作◎日本電波ニュース社 HD/16:9/カラー/47分

医師中村哲の仕事・働くということ

アフガニスタンとパキスタンで、
病や戦乱、そして干ばつに
苦しむ人々のために
35年にわたり
活動を続けた男がいた。

1984年に医療支援をスタートし、干ばつ対策用の用水路建設、農村復興へと活動を広げた中村哲医師、その歩みは35年に及んだ。中村医師はまず現地の言葉を覚え、現地の人々との対話を通じ、信頼を重ねていく。「私たちに確乎とした援助哲学があるわけではないが唯一譲れぬ一線は『現地の人々の立場に立ち、現地の文化や価値観を尊重し、現地のために働くこと』である」用水路建設では自ら設計図を引き、重機を運転し、泥にまみれて一緒に作業する。その作業には貧しさゆえにタリバンに参加していた農民も参加していた。「己が何のために生きているかと問うことは徒勞である。人は人のために働いて支え合い、人のために死ぬ。



そこに生じる喜怒哀楽に翻弄されながらも、結局はそれ以上でもそれ以下でもない」荒れ果てた大地は蘇り、農作物は実り、65万人の生活を支えている。

親子で収穫し、家族で食事をする風景は眩しい。
中村医師は言う「これは人間の仕事である」



12/7 (日) ①10:30～ ②14:00～ *各回 30 分前より受付/開場
アイーナ・いわて県民情報交流センター アイーナホール(7階) *各定員400 名
(岩手県盛岡市盛岡駅西通1丁目7-1)

料金:一般 1,000 円 学生 500 円 障がい者・高校生以下無料 当日入場可



各回上映(47 分)後 記念講演「みんなで生きる～中村医師と宮沢賢治と協同組合～」
講師: 岡田 幸助 氏 / 岩手大学名誉教授 (元 宮沢賢治いわて学センター代表・獣医師)

●当日、701 会議室にて本作品 DVD・中村哲医師関連書籍・労働者協同組合法関連書籍
及びワーカーズコープで運営している事業所の商品を販売します。

【申込方法】FAX(019-681-2092)または下記 QR コードより申し込みください

お名前		参加日時	12/7 (10:30) ・ (14:00)	
電話		メール		
他参加者				

【主催】労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団北東北事業本部【共催】一般社団法人日本社会連帯機構
【後援】岩手県 盛岡市 盛岡市教育委員会 岩手日報社
【お問い合わせ】電話: 019-681-2091 (北東北事業本部) FAX: 019-681-2092
【受付時間】(平日) 10:00～17:00



国際協同組合年

協同組合はよりよい世界を築きます



WORKERS' COOP